

第49号 ぶんきんニュース

2020年4月27日 (2020.04.28訂正)



目次

巻頭言	2
お知らせ	3
近畿支部フレッシュ役員 自己紹介コーナー (2019年度)	4
募集 提案公募型セミナー支援事業	5
ぶんきんニュース無料広告のご案内	10
日本分析化学会近畿支部ウェブサイト・バナー広告掲載のご案内	11

巻頭言



本年度は2年目の近畿支部長を務めさせて頂いております。令和2年は新型コロナウイルス感染症蔓延で記憶される年になりそうです。何年か経てば、記憶も薄れますが、この時期がすべての企業人、教育研究者にとって苦難の時期であったと思ひ起こされる日も来るでしょう。現在は、まさにそのコロナ渦の真ただ中であり、近畿地方で新学期を迎えて、授業を行っている高等教育機関はほとんどなく、企業活動も委縮してしまった異様な光景を人々は目の当たりにしております。かつて、レイチェルカーソンが化学物質の汚染により、花が咲いても虫の羽音ひとつしない「沈黙の春」を上梓、警鐘したのとは違った状況かもしれませんが、新学期のキャンパスには聞こえるはずの学生の声も、街で新社会人が期待を胸に談笑する声も聴くことができません。全国に緊急事態が宣言され、GWまでの人の行き来の自粛が要請されました。人の心は移ろいやすく、去年、一昨年 of 苛烈な台風、近年頻発し始めた地震、火山噴火も今はその存在を懸念する余裕もありません。このような世相の中、分析化学会近畿支部にとって、昨年一年間は非常に実り多い年でありました。支部活動は充実し、各WG責任者の先生方は、支部のアクティビティを最大限に引き上げてくださいました。また、年会では、前支部長 辻 幸一先生の学会賞受賞始め、横井 邦彦先生、藤原 学先生の学会功労賞受賞、吉田 裕美先生の女性Analyst賞受賞、小林 宏資先生、下赤 卓史先生、田邊 一郎先生、西尾 友志先生の奨励賞受賞(奨励賞は近畿支部独占でした)と数多くの先生方のご研究が受賞の対象になりました。また、三宅 司郎先生の技術功績賞受賞およびリガク、島津製作所のJAIMA機器開発賞共同受賞と企業に在籍される先生方の優れた技術開発も受賞の対象となりました。いずれも学会活動で貢献されるとともに、ご所属でのご研究、技術開発が花開いた例であり、近畿支部の地力を垣間見たような気が致します。また、この年会では、分析化学会に多大なる貢献をされた木村 恵一先生と垣内 隆先生が名誉会員に推戴されました。近畿支部には、他にも素晴らしいご研究が続けられている先生方、世界に先駆けた技術を開発されている企業に所属される先生方も数多くいらっしゃいます。本年も、近畿支部から多くのアイデア、技術、研究成果が発信されることを願っておりますし、その支えとなるべき支部でありたいと思います。しかしながら、現在のところ、夏までの講習会行事等が中止となり、他の行事も先行きが見えない状況であります。このような状況の中、世相に惑うことなく、地道に研究を遂行される若い先生方のご努力がいずれ実り、花を咲かせることを願っております。分析化学会では、本部の財政問題も喫緊の課題であり、関東支部の次に大きな支部としては本会の屋台骨としての役割も担わなければなりません。学会員減少を食い止め、学会活動をより活発にするためにはどうすればよいか、支部活動が若い研究者の方々にとって魅力のあるものにするためにはどうすればよいか、これから考えていかねばならないことは数多くあります。このような危機的状況の時こそ、新しいものが生まれるチャンスはやってくると信じて新しい近畿支部の在り方を模索し、邁進してゆきたいと考えております。皆様のご協力があつてこそ近畿支部であります。本年度もよろしくお願ひいたします。

(甲南大学 茶山 健二)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う支部行事の予定について

公益社団法人

日本分析化学会近畿支部

支部長 茶山 健二

拝啓 浅春の候 益々ご清祥の段お慶び申し上げます。

平素より支部運営について、ご協力、ご高配を賜りありがとうございます。

昨今の COVID-19 対策として、以下の通り、今年度実施の行事につきまして、開催予定を見直すことと致しました。関係者の皆様には、これまでご準備など御尽力いただいておりますが、政府による緊急事態宣言の発令ならびに COVID-19 の終息の見通しが立たない中、誠に遺憾ではございますが、御容赦賜ります様、何卒、よろしく願いいたします。

以上、ご挨拶傍々ご案内申し上げます。

敬 具

1. 第 2 回幹事会および第 15 回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会

7月17日（金）における開催の可否について、6月19日（金）に執行部として判断し、後日速やかに開催方法を周知することとする。

2. 第 1 回支部講演会

12月4日（金）の第3回幹事会の予定日に順延することとする。

3. ぶんせき講習会 基礎編その1

10月30日（金）に延期することとする。

4. ぶんせき講習会 基礎編その2

会場提供の企業の負担を考慮し、中止することとする。

5. ぶんせき講習会 実践編

会場提供の企業の負担を考慮し、中止することとする。なお、延期の可能性についても継続して検討を進める。

6. 第 14 回近畿支部夏季セミナー

クラスター感染のリスクを考慮し、中止することとする。

自己紹介コーナー 2020 年度

氏名（よみがな）	宮崎 哲男 （みやざき てつお）
所属	日鉄テクノロジー株式会社 尼崎事業所 解析技術部 分析技術室
研究分野又は特技	鉄鋼・非鉄金属分析、無機化学分析、ガス分析
<p>皆様、初めまして。2020 年度より日本分析化学会近畿支部幹事を仰せつかりました日鉄テクノロジー(株)の宮崎哲男と申します。私は、入社以来分析業務一筋であったにも関わらず、当会とは関わりが少なかったのですが、今後は積極的に皆様との関係強化に努めさせていただきます、微力ながら日本分析化学会の発展に貢献できればと思っております。</p>  <p>この場をお借りして日鉄テクノロジーの業務について少し紹介させていただきます。弊社は北海道から九州まで全国の日本製鉄(株)とともに事業拠点があり、鉄鋼製品の品質保証、研究開発支援、環境分析、材料や製品の調査や評価を主な業務としております。会社名から、鉄鋼の分析や評価のみを対象としている印象をお持ちの方も多いかもかもしれませんが、私が所属する尼崎事業所は親会社以外からご依頼いただく方が多く、非常に幅広い分野の材料を対象として扱っております。分析評価にあたっては、最新の設備と豊富な知識と経験で対応させていただきますので、何なりとお申し付けください。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、わたしたちは厳しい状況に直面しておりますが、分析従事者の立場から明るい未来を築くことができるよう、共に頑張っていきましょう。</p> <p>日鉄テクノロジー株式会社 https://www.nstec.nipponsteel.com/</p>	

日本分析化学会近畿支部

提案公募型セミナー支援事業

「支部会員が企画する セミナー」を支援します

講演会、セミナーなどに
5万円程度、支援します！



例えば、

- ・外国から来日された研究者の講演会
- ・大学間における学生の研究交流発表会
- ・企業による機器分析装置のセミナー
- ・分析化学教育に関する検討会
- ・産学連携の情報交換会・発表会

など...

支援内容は、会場費、講師謝礼、会議費などです。

日本分析化学会近畿支部に所属する会員の分析化学に関する知識の修得、情報交換を支援します。開催場所は近畿内であれば問いません。

応募手続き:

セミナーテーマ、日時、場所、予算計画を事務局にメールでお送りください。

応募・問い合わせ先

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6F

公益社団法人 日本分析化学会近畿支部 宛

電話 06 (6441) 5531 / FAX 06 (6443) 6685

E-mail: mail(atmark)bunkin.org



支部会員の皆様からのご提案をお待ちしています！

日本分析化学会近畿支部
提案公募型セミナー支援事業案内

【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大防止策について】

公募は従来通りとしますが、セミナーの実施時期は6月以降とさせていただきます。また、今後の状況に応じてセミナーの実施時期に関しましては延期する可能性もございますので、ご承知おきください。

公募内容

日本分析化学会近畿支部では、

- ・海外から来日された研究者の講演会
- ・大学間における学生の研究交流発表会
- ・企業による機器分析装置のセミナー
- ・分析化学教育に関する検討会
- ・産学連携の情報交換会・発表会

など、分析化学に携わる研究者・技術者が既存の組織や分野に捉われず、相互に情報交換できる機会を支援します。

皆様のご提案をお待ちしております。

支援要件

近畿支部の主催、あるいは共催とし、日本分析化学会近畿支部会員が参加できること（支部WEBサイトやメール等で参加者を募集します）。

原則、近畿支部圏内で開催すること。

セミナーは、本採択を受けることを開催の前提とするものでも、他の機関の主催で開催を決定しているものでも結構です。

応募資格

提案者が日本分析化学会会員であること。講演者は非会員でも構いません。

広く支援を行うために、過去に採択されたテーマと同一、または類似したテーマでの提案は対象としません。所定の申込書に記載の上、開催予定日の2か月前までに、下記応募先へメールで応募下さい。

援助金額

上限5万円／1テーマ（募集件数年間3テーマ程度、最大でも5件まで）。内訳は講師の講演料（及び交通費）、会場費など。ただし、提案公募型事業の総額は予算で決められた範囲内とし、総額が予算を超える場合、もしくは1テーマの援助額が5万円を超える場合には、支部長・会計幹事も交えて提案公募型セミナーWGで協議を行います。

テーマの採択

提案の採否については、提出された申込書に基づき審議の上、随時、本支部常任幹事会にて決定し、提案者にその結果を連絡いたします。尚、予算の都合上、当該年度の募集を打ち切ることもあります。

セミナー後記

採択されたセミナーの提案者の方には、セミナー開催後に、後記の執筆をお願いします。「ぶんきんニュース」または「ぶんせき」誌に掲載します。

募集

応募・問い合わせ先

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6F

公益社団法人 日本分析化学会近畿支部 宛

電話 06(6441)5531 / FAX 06(6443)6685 / E-mail : mail@bunkin.org

以上

<別紙>

日本分析化学会近畿支部 提案公募型セミナー申込書	
	年 月 日
テーマ	
開催日 (予定) 定員 (予定) 開催場所 (予定)	年 月 日 (曜日)
概要 (100字程度)	
セミナーの参加費:	無料・有料 (金額 円)
援助希望金額 (他機関からの援助がある場合、名称と金額を明記)	(他機関からの援助) 名称 金額 円
申込・提案者 氏名 所属機関 (大学名・企業名など) 日本分析化学会 会員番号 連絡先 〒 電話 FAX E mail	

(該当箇所には○印)

募集

<責任者（セミナー担当幹事）手持ち資料>

1. 企画に関する詳細な規定（メールを受け付けてから応募者に案内する）

本支部からの財政援助を希望する場合には、予算案を作成し提出してください。

他機関からの財政支援を受けてセミナーを開催する場合は、申込書に助成金名称とセミナー開催への支援金額を記入して下さい。なお、本支部からの援助金を懇親会等の飲食費として使用することはできません。セミナー開催中の簡単なお茶菓子は除きます。

尚、採択されたセミナーは本支部主催、もしくは他機関からも財政支援がある場合は本支部との共催とさせていただきます、開催案内を「ぶんせき」誌（掲載が間に合えば）または本支部ホームページに掲載します。また、支部会員にメールで案内します（参加者限定型は原則対象外となります）。

収支報告書の提出

セミナー開催後、1カ月以内に収支報告書とすべての経費に関する領収書(正)を提出していただきます。

2. 受付・対応フロー（担当幹事の業務）

1) 申請 支部事務局→セミナー担当幹事

2) 受付 申請者にセミナー担当幹事から、①受け付けること、②審議することを連絡する。

3) 審議 常任幹事会メンバーに審議いただく（メール審議可、庶務担当幹事に依頼する。1週間程度）。

4) 採否通知 審議結果を申請者に通知する

以下、採択の場合

5) 会員に案内 支部事務局に、支部 WEB サイトの行事予定への掲載を依頼する。

開催までの期間がある場合、支部会員へメール発信いただく、会誌「ぶんせき」の行事欄への掲載はセミナー担当幹事が本部（e-mail : shomu@jsac.or.jp）に直接要請する。

6) 援助費用の支払い 支部会計幹事および支部事務局に依頼する。

領収書の発行と回収、源泉徴収の手続きも支部事務局に依頼する。

会合前の支払いも可。

7) 終了報告

領収書を支部事務局に提出する。

会計報告と開催報告を作成いただき、担当幹事に提出いただく。

会計報告は会計幹事と支部事務局に行く。（実際は申請者と支部事務局の間で行い、会計幹事には後で報告される）

開催報告は、支部常任幹事会、幹事会にて担当幹事より報告する。

セミナー後記の執筆を申請者に依頼し、成文となったものを「ぶんきんニュース」に掲載してもらうため、ホームページ&ニュース WG 責任者に依頼する。

募集

<会員案内用書式>

202〇年度第〇回提案公募型セミナー

<テーマ>

主催	
日程 定員 会場	
概要	
プログラム	
申し込み締め切り	
参加費	
申し込み方法	
申込先	

ぶんきんニュース無料広告のご案内

近畿分析技術研究懇話会 会員の皆様へ

平素より近畿分析技術研究懇話会および日本分析化学会近畿支部の活動にご支援およびご高配を賜り、誠にありがとうございます。

日本分析化学会近畿支部では、年に3回、ぶんきんニュースという会報を発行し、pdfの形にて支部会員の皆様に配信しております。そのぶんきんニュースですが、近畿分析技術研究懇話会会員の皆さまのための無料広告欄を設けております。

つきましては、会員の皆様より広告データを募集したく存じます。広告欄はA6版横置きを予定しております。お送りいただいた広告は、各号数件ずつまで、掲載予定です。また、ご希望があれば、1年間の継続掲載もさせていただきます。

ぜひ、この機会をどうぞご利用ください。

——— 広告データ要領 ———

サイズ: A6 横

カラー: 可

データ形式:

体裁が崩れないよう、JPEG、PNG、BMPなどの画像データとしてお送りください。

150 dpi以上の高解像度のデータ(画素数は縦620ピクセル、横874ピクセル)以上を推奨いたします。

データ送信先:

京都大学 内藤 豊裕

E-mail: naito.toyohiro.2n@kyoto-u.ac.jp

日本分析化学会近畿支部ウェブサイト・バナー広告掲載のご案内

○バナー広告掲載に関して

日本分析化学会近畿支部ウェブサイトトップページ上に掲載するバナー広告の広告主を募集します。広告主は、分析や計測に関わる企業を対象とします。ウェブサイトトップページから閲覧者が直接広告主のウェブサイトへ移動することが可能です。

○申し込み方法

日本分析化学会近畿支部事務局へメール(E-mail: mail@bunkin.org)にて下記の事項を記載のうえ、申し込みを行ってください。

1. 会社名:
2. ご担当者氏名:
3. 住所:
4. メールアドレス:
5. 移動先 URL:
6. 電話番号:
7. 備考:

○広告掲載ホームページ

日本分析化学会近畿支部ウェブサイトトップページ : <http://www.bunkin.org/>

○掲載位置

日本分析化学会近畿支部ウェブサイトのトップページ左端に、広告主が希望する移動先 URL へのリンク付きバナーを掲載します。

○規格

- ・トップページ : 横 155 ピクセル×縦 100 ピクセル(枠なし)
- ・画像形式 : GIF(アニメ不可)または JPEG
- ・データ容量 : 20 KB 以下(トップ)

※ 画像は、広告主の責任と負担において作成をお願いします。

○広告の掲載料

近畿分析技術研究懇話会(近分懇)会員、分析化学会維持会員・特別会員は、無料とします。先の会員以外の方は、広告の掲載料は 20,000 円/年とします。なお、近分懇には、「近畿支部内の企業、官公庁、大学に属する、産官学の会員相互の交流を深めると同時に、分析化学に関連する新しい技術の開発と進展、並びに理論的な研究に関する話題を提起して、分析化学の進歩と分析技術者・研究者の育成に寄与する」という趣旨に賛同して、年間一口 10,000 円をお納めいただければ法人賛助会員になれます。

○広告の掲載期間

広告の掲載期間は、原則として年度単位の 1 ヵ年(4 月 1 日～翌年 3 月 31 日)とします。

***** 日本分析化学会近畿支部

あとがき

本号より、ぶんきんニュースを担当させていただきます。

表紙の写真は、近所に咲いていた桜です。今年はCOVID-19の影響で、多くのイベントが延期・中止となり、例年は花見で大勢の方が駆けつける公園も閑散としておりました。花見を自粛された方も、もともと花見に行く予定がなかった方も、表紙で桜を楽しんでいただければと思います。

本ニュースを通じて、新時代に即した産学のネットワークの構築を図り、近畿支部の発展に寄与できれば幸甚です。また今年は、COVID-19の影響による行事日程の変更についても、可能な限り迅速に皆様にお知らせいたします。(内藤 豊裕)